

米国消化器病週間(DDW) 学会参加報告

2019年5月18日から21日までアメリカのカリフォルニア州サンディエゴで開催された米国消化器病週間(DDW)に参加し、研究成果の発表をしてきました。

DDWとは、米国肝臓病学会(AASLD)、米国消化器学会(AGA)、米国消化器内視鏡学会(ASGE)、米国消化管外科学会(SSAT)の4つの学会の共同の総会で、世界最大の消化器病学術集会です。

ポスターセッションでの発表で、潰瘍性大腸炎治療薬の5-ASA製剤とチオプリン製剤の相互作用に関する研究報告を行いました。拙い英語ではありましたが、ポスター閲覧者とのディスカッションや、他の発表者の研究に関してディスカッションを行い、意見交換を行うことができました。

サンディエゴは西海岸沿いで、メキシコとの国境が近く、学会の後には特大のステーキやシーフード、メキシコ料理を堪能し、楽しませていただきました。

今回の国際学会での発表を通じて経験したことを、今後の日常診療と臨床研究に生かしていければと思います。

森久保 拓

